

今回は、久しぶりの阿仁川釣行。先に行っているS雄さんとE藤さんの珍道に合流予定。とはいっても時間たっぷりの一人旅。途中で、ホームグラウンドの小国川に立ち寄る。すると、あまりの光景にびっくり。今年の山形は1か月近くまとまった雨が無く、今まで見たことがない水位だ。とりあえず、長沢で竿を出してみるが、釣れてくるのはコンディションが悪いアユ。仕方なく、さらに上流に行ってみる。O形さん親子と合流して釣りをするも、数尾釣るのがやっとだ。予定よりも早く秋田に向けて移動することになった。

いわき市からだ片道500kmの阿仁川だけど、途中で小国川に寄ったこともあり、気分的にはそれほど遠くない。というか、峠道が普通ったときよりも良くなっているし、今回は、車高の低いプリウスなので、峠道も楽な走りなのも影響しているのかもしれない。阿仁川には予定よりも早い16時に到着。阿仁前田駅前の河川敷に行くと、すでに駐車場は釣り人で満員。場所を選ぶこともできないので端っこに陣取る。眺めているとポツリポツリは釣れているようだ。こうなると我慢できない。入漁券を購入して、夕方から竿を出してみることにする。濁水とはいえ、小国川と違って水量はそれなりにある。目の前の背肩にオトリを通すと、程なく一尾目が掛かる。そして、ここからは入掛かりとはいわずに、ポツリポツリ釣れ、暗くなるまでに10尾ほど釣ることができた。これまで、厳しい釣りをしてきたが、オトリを入れると向こうから寄ってくる感じで釣れる。本来の友釣りです。

翌朝、朝一から釣りをしようかと思っていると、同じ、福島ナンバーの車の人に来て話しかけられる。昨日は暗くなるまで釣っていた人がいたらしいとのこと・・・もちろん、私の事である。誰も居ない川で一人竿を絞っていたので、さぞかし目立ったのでしょうか？阿仁川でそこまでやる人は居ないみたい。それを聞いて、朝5時から竿を出すのは恥ずかしいので、しばらく我慢して、6時に下流に向けて出発。歩いて1kmほど下ったところから釣りを始めることにする。ここは、小又川合流の上流部になるので、水量は幾分少なくなる。この時間でも誰も竿を出していないので、川を独り占めだ。メジャー河川ではありえない。

朝から入れ掛かりを期待しての釣り開始。しかし、予想に反して無反応・・・トーナメント並みにあらゆるポイントを攻めるけど一向に鮎が掛からない。これはやらかしたか？と思った頃（8時頃か？）。ようやく釣れ始める。普通の平瀬で、何か新しいことをした訳ではないけど、ポツリポツリ釣れ始める。そして、一通り釣ったところで、後ろ向きの浅いポイントを釣り始めたところで入れ掛かりの始まり。面白いように鮎がすっ飛んできて掛かる。しかも、暴力的な引き！サイズは20cmソコソコだけど、水深が浅いせいもあり半端なく走る！ただ、不思議なことに半数以上は胡身掛かり。普通に背に掛かればさらに加速するのだけど、どうしてもペースが落ちてしまう。針を色々替えても変わらない。この傾向は終始続くことに。

昼まで良い感じで釣れたので、酸欠が心配になり一度ベースキャンプに戻ってオトリ缶に魚を移し、昼食後は下流を歩いて見に行くことにする。学校下？まで行くと迫力ある瀬が続く、昔来た時に、ここで仕掛けをブツブツ切られたような記憶がよみがえる。さて、瀬の釣りは進化したのでしょうか？一番の流れにオトリをねじ込むと、早速良型が掛かる。これは口掛かりなので何とか取



今回は、一人旅なのでプリウスで釣行。さすがに燃料が減らない。往復1000kmも無理ではない感じ。さらに峠道は低重心で楽に走れる。



こんな小国川は見たことが無い。この後、鮎が死んで大きなニュースに・・・



以前来た時は、無かったと思う道の駅。



小又川合流上流部。この流れの右岸際の浅瀬が爆釣

り込むことに成功。しかし！船に入れる時にピョン！昼にビールを一本飲んだのかい！か！のか？どうも雑になってしまう。気を取り直して、同じ筋に入ると、今度は掛かった瞬間にラインブレイク！???と次の瞬間、そのポイントで尺ヤマメがジャンプ。どうもオトリにアタックしてきよう。結局、この瀬はポツポツ程度で、ペースが上がらない。夕方になり、S雄さんE藤さんコンビが到着したので、ベースキャンプに戻って、宴会の準備。結局、この日は午前中40尾、午後13尾で終了となった。

楽しい宴会翌日。昨日よりも遅い始動。どこに入るか相談した結果、私が前日良い思いをした小又川上流に入ることになった。自分が釣った後はどうなのか？とも思うのですが・・・やはり、この日も朝一は反応が悪い。昨日よりは幾分上流からスタートするもポツリ・・・ポツリ程度だ。さらに上流に行くものの全く反応が無くなってしまった。かなりポイントムラもある感じ。

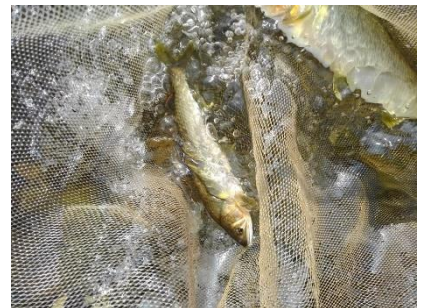
そこで、昨日やった場所まで戻って同じ場所をやってみる。そして、何となくわかったのは、人がやりそうにないチョットしたポイントを拾い釣りした方が、勝負が早いということ。どうも、しばらく増水していないので、普通のポイントは攻め切られている感じ。こんなところは狙わないだろう？というポイントでは一発で掛かってくる。特に、岩盤の溝は良い感じ。苦戦しているEさんに、鮎が次々に入ってくる溝を提供すると、やはり掛かり始める。

結局、この日は40尾そこそこで終了。ところで、今回は、大魚を狙ってオトリ缶+野菜用コンテナで作った生け簀を持って行ったのだけど、一晩おくと半数程度が死んでしまう。水温が高いのが一番影響しているのだろうけど、腹掛かりが多いのも原因かもしれない。次回は、塩漬いや燻製など、保存食も考えなくては。

それにしても、久しぶりに楽しい鮎釣りができました。



学校下の瀬 中々の迫力です。



写真が切れてしまいましたが、今回試研大の鮎です。このあと元気に飛んでいきました。



E 藤さんに魚が湧いてくる岩盤の溝を提供。



久しぶりに楽しい鮎釣りでした。